

令和7年第4回さくら市議会定例会一般質問順番

令和7年1月28日（金）午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1番	高瀬 一徳 議員
2番	矢澤 功 議員
3番	若見 孝信 議員
4番	永井 孝叔 議員

令和7年2月1日（月）午前10時～ 2人

質問順番	質問者名
1番	加藤 朋子 議員
2番	大河原千晶 議員

高瀬一徳 議員

1. 鳥獣害対策について

- ・さくら市内への出没
- ・現在の猟友会の会員数は。また警察やその他関係機関との連携は。
- ・緊急猟銃への対応は。

答弁を求める者 市長

2. HPVワクチン接種状況について

- ・改めてワクチン接種による効果と対象になる年齢は。
- ・男性にもワクチン接種による予防効果があるとの事だが、今後枠を広げて男性へのワクチン接種補助の考えは？

答弁を求める者 市長

3. 新たなスマートインターチェンジの設置について

- ・現在の進捗状況は。
- ・今後の取り組みと見立ては。

答弁を求める者 市長

矢澤 功 議員

1. 優しいさくら市の諸制度と広報について

各部において各種の助成制度があるが、知らない住民が多く見られる。市民に対しての広報・周知方法は。

答弁を求める者 市長・教育長

若見孝信議員

1. 少子化対策の取り組みについて

昨年10月21日の議員全員協議会で報告のあった少子化対策の取り組みについて、1年経過したが現在までの状況と今後の展開について伺う。

答弁を求める者 市長

2. さくら市の20周年の記念年の取り組みについて

本年は、さくら市の市制施行20周年の年にあたり、市としても様々なイベントを行っているが、これらのイベントの成果を伺う。

答弁を求める者 市長

3. 空き家対策について

2025年5月には解体DX「クラッソーネ」と連携協定を締結しているが、当該企業の取り組みにおける成果、特に費用対効果の分析について伺う。

答弁を求める者 市長

永 井 孝 叔 議員

1. 農業の振興について

本市は、農業の基盤である農地が地域面積の40%を超えており、農業は重要な基幹産業となっている。しかし、農業を取り巻く環境は農業従事者の減少や高齢化に伴う担い手不足、さらには農業資材・燃料・肥料・飼料等の価格高騰など大変厳しい状況にある。

次世代を担う農業者にとって農業を魅力ある産業にしていくためには、担い手への農地集積や農業の高付加価値化を図る高収益作物への転換が求められており、水田の大区画化や汎用化などスマート農業に対応できる次世代型基盤整備の更なる推進が必要である。

そこで、資材高騰等で厳しい経営環境にある農家をどう支援し、本市の基幹産業である農業の振興をどのように図っていくのか市長に伺う。

また、圃場整備事業は、農地の区画・形質の変更、権利者の費用負担等を伴うことから、原則として権利者の同意及び申請により実施される事業である。

大中地区では県が事業主体となる圃場整備事業の実施に向け、事業区画内の権利者の合意形成を図るために行政区長等を中心に取り組んでいると聞いているが、現在の進捗状況や事業実施の見通しについて併せて市長に伺う。

答弁を求める者 市長

2. クマ、イノシシ対策について

最近県内でも、ツキノワグマが人の生活圏に出没を繰り返し、これまで複数の人身被害が発生している。本市においても8月以降、早乙女地区や喜連川地区で出没を繰り返している。

9月から施行された改正鳥獣保護管理法により、クマなどが人の日常生活圏に現れ危害を及ぼす恐れが迫った場合などに限り、自治体が緊急的に銃を使った駆除、「緊急銃猟」をハンターに委託することができるようになった。

そこで、市民の命を守るためどのようなクマ対策を行っていくのか市長に伺う。また、イノシシは稻やイモ類、野菜などを好むため、本市の生息地でも農業被害が発生しており、鳥獣の被害では最も多くなっている。

そこで、分布を拡大しつつあるイノシシの捕獲を促進するため、どのように取り組んでいるのか、併せて市長に伺う。

答弁を求める者 市長

3. 障害者福祉の充実について

宇都宮市では、2022年5月に公布・施行された「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」の趣旨を踏まえ、障害のある方が必要な情報やサービスをいつでも取得・利用できる環境を整えるため、障害者支援アプリ「わく・わくアプリU」の運用を昨年12月より開始した。

このアプリでは、事前に障害者手帳や各種サービスの有効期限を登録することにより、更新手続きの案内が受け取れるとともに、これまで冊子により確認していた福祉サービスを利用するための手続きをアプリで確認することができる。また、目的や障害種別、場所などから障害福祉サービス事業所を絞り込み、特徴や空き状況も確認できるので、事業所への問い合わせも不要になり、障害者や介護者の利便性が向上したとのことである。

そこで、本市においても「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」の趣旨を踏まえ、障害者支援アプリの運用を開始すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答弁を求める者 市長

加藤朋子議員

1. 市民一スポーツのさらなる推進を

市民の健康作りの基本であるスポーツの更なる推進を求めて、以下の点について市長の考えを問う。

1. 市内体育施設の現状と課題は。
2. 市民体育祭の今後の在り方は。
3. 小中学生部活動地域移行の現状と将来は。
4. さくら健幸ポイント saku 歩の現状と効果、目標は。

答弁を求める者　市長、教育長

2. 防災・減災施策の進化を

近年防災・減災の新たな取り組みが注目されている。デジタル技術を活用した情報伝達、避難行動を具体化する「マイ・タイムライン」作成、日頃から備えを行う「フェーズフリー」等、当市でも取り入れる考えはないのか市長に問う。

答弁を求める者　市長

大河原千晶 議員

1. 財政確保の施策とは

「さくら市持続可能な財政基盤確立基本方針」によると、さくら市の財政運営が直面する課題は深刻であり、持続可能な財政基盤を確立するためには、様々な手法・手立てを用いた歳入の確保に取り組むとの方針が示されていた。

そこで、その具体的な取り組み、そして現在のさくら市の財政状況について問う。

答弁を求める者 市長

2. 再生可能エネルギー施策について

1. 本市の再生可能エネルギーの推進、普及の現状は。
2. 今後の目標は。
3. 地球温暖化対策としての太陽光発電の重要性は認識しつつも、地域に与える影響・懸念点など、市はどう認識しているのか。

答弁を求める者 市長